



日頃より鹿児島ユナイテッドFCの活動に多大なるご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

この度、鹿児島市の旧喜入いきいきふれあい広場にトレーニング施設を整備し、10月より利用開始することになりました。まずはグラウンド面(天然芝2面、人工芝1面、照明施設)の整備になりましたが、ここに至るまで、地域の方々やファン・サポーター、スポンサーや自治体関係者の皆様など、本当に多くの方々のご理解とご支援があり実現することが出来ました。心より厚く御礼申し上げます。

さて、これまでのクラブを取り巻くトレーニング環境は、前身のヴォルカ鹿児島とFC KAGOSHIMAの頃はもとより、鹿児島ユナイテッドFCとして活動した8年間においても、非常に厳しい状況でした。自治体や他の一般利用者のご厚意やご理解を頂きながら、鹿児島市内を中心に様々なグラウンドをお借りしてトレーニングを行って参りました。時には複数台の車のライトを照らして照明替わりにしてトレーニングを行ったり、天然芝の養生期間でグラウンドが確保できない場合は防波堤を走るだけで終了したりすることもありました。また、毎日同じ場所のグラウンドが確保できず、曜日ごとにトレーニング場所が変更になり長距離移動や用具の運搬を毎回行うなど、トレーニング開始前からの負担も大きかったと思います。さらに、トレーニング後のメディカルケア等を速やかに充分に行えない等、プレー以外による怪我のリスクも非常に高い状態だったと思います。

クラブとしては、より高みを目指すうえで毎日行うトレーニングの環境を整えることが最優先と考え、この数年間にわたり関係各所と連携を図りながら、今回のトレーニング施設の整備を進めて参りました。

この整備により、選手はコンディションを整え試合に望むことはもちろん、選手の個の成長やアカデミーの発展にも繋がります。また、鹿児島県サッカー協会とも連携し県内の競技力向上に地元のJリーグクラブとして貢献することができるものと考えております。さらには、一般の方々にもご利用頂き、地域住民の集う新たな賑わいの創出につながるものとなります。

しかしながら、トレーニング施設の整備と運営には多額の費用が必要となることも事実です。今回のグラウンドの整備には約5.5億円、ゴールポストやトレーニング機器の購入などに約1,500万円、そしてランニングコストとしても年間で約2,500万円程度の費用が掛かる見込みです。また、今後、クラブハウスの本格的な整備(約3.5億円)を進めていきたいと考えております。

クラブとしては、今回のトレーニング施設が整備されることによって削減できる経費を徹底的に洗い出すこと、及び、企業版ふるさと納税による多くの企業の皆様のご支援を受けて整備や運営を行って参りますが、さらに広く多くの皆様からのご協力をお願いし、『喜入トレーニング施設環境整備支援募金』としてご支援を賜れば幸甚です。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、皆様の生活環境が大きく変わっている状況の中で大変恐縮ではございますが、ご理解、ご賛同いただければ幸いです。鹿児島から全国へ、そして、世界に通用するクラブ創りに、格段のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

鹿児島ユナイテッドFC 代表
徳重 剛